

電動オフロードバイク

CAOFEN

オーナーズマニュアル

⚠ 警告

- このマニュアルをよくお読みください。このマニュアルには安全にかかわる重要な情報が記載されています。

CAOFEN 日本輸入総代理店 株式会社バトン Trading
埼玉県所沢市坂之下 296 TEL 090-7230-3674
E メール：bivouac.strada@gmail.com

イントロダクション

CAOFEN-F80シリーズ電動バイクのお買い上げ、誠にありがとうございます。この電動バイクは長年、合金素材の応用研究、コアコンポーネントの製造、そして電気駆動のテクノロジーと経験を積んだCAOFENチームにより作られています。これであなたは最先端の電動バイクオーナーです。適切なメンテナンスをすることで、この電動バイクは長期に渡り、あなたを楽しませてくれることでしょう。このマニュアルは、基本的な特徴や操作方法について説明します。このマニュアルに記載のない操作方法や、メンテナンスについての問題が発生した場合は、CAOFEN製造元、あるいはお近くの代理店までご連絡下さい。

安全にかかわる重要な情報

- このマニュアルはCAOFEN F80を使用するにあたり、重要な情報、注意事項（警告、危険）について記載されています。マニュアルに載っている図が、実車とは細部に微妙な違いがあるかも知れませんが、説明されている原理は同じです。
- 絶え間ない商品の品質向上と調査・研究、プロダクトデザインの改良により、CAOFEN電動バイクは常に高い品質基準を維持しています。記載されている情報は予告なく変更になる場合がございます。
- CAOFEN F80 の詳細情報、使用方法、メンテナンスマニュアルについてはCAOFENオフィシャルサイト：<https://www.caofen-japan.com/>をご覧ください。

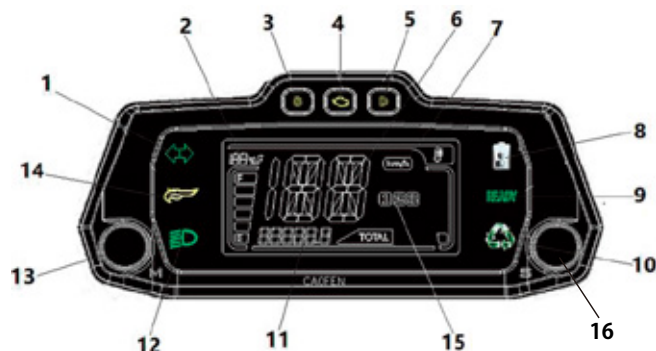
重要な情報

このマニュアルの内容について見落としがあった場合、深刻な怪我や死亡に至るケースがあります。重要な情報については以下のマークが付いています。

	警告マーク： 危険、警告、注意 ● この警告マークに従わなかった場合、F80電動バイクのライダーや傍観者、メカニックに重大な障害を与えたり、死亡に至るケースがあります。 ● 警告マークのあるパートでは、車体にダメージを与えないように十分な予防措置を取って下さい。
ヒント	作業をより簡単にするための重要な情報

3. スピードメーターとインジケーターライト

1. ターンシグナルインジケーター
2. バッテリーレベルインジケーター
3. パワーギアディスプレイ
4. 警告灯
5. Dギアポジションインジケーター
6. スピードメーター
7. スピードメーター単位
8. バッテリー警告灯
9. レディー(READY)ライト
10. リサイクルマーク
11. オドメータ&トリップメーター
12. ハイビームインジケーター
13. スイッチボタン左
14. エンターテイメントモード
15. ギアポジション(1、2、3)
16. スイッチボタン右



1回短く押すとオドメーター&トリップメーターの切替
長押しでkm/hとMPHの切替

長押しでトリップメーターリセット

ヒント：お買い上げいただいたF80電動バイクは、本マニュアルの説明と異なる場合がございます。

スピードメーターインジケーター

リモコンのボタンを押すとLCDスクリーンが発光します。

1. ハイビーム 初期設定ではデイトタイムランニングライトになっていますので、ハイビームにする際はハンドル左にあるライトボタン上側を押して切り替えて下さい。

2. 電動バイク前後部の左右にあるターンシグナルは、ハンドル左側にあるターンシグナルスイッチの左、または右を押すことで作動します。左のターンシグナルスイッチを押せば左側のターンシグナルが、右のターンシグナルスイッチを押せば右側のターンシグナルが点滅します。

3. エンターテイメントモード表示：ハンドル右側にあるエンターテイメントモードスイッチを3秒間押し続けます。このライトがオフになるとモーターブレーキの効きが弱まり、アクセルオン・オフでのぎくしゃく感を低減出来ます。

4. **S** パワーギア表示：**S** ライトはギアがD、またはギア1の時は点滅しません。ギア2の時にゆっくり点滅、ギア3の時に早く点滅します。

5. 「E/S」：ギア(Gear)切り替え。ギア(スピードリミッター)

ギア1 及びギア 2：65km/hまでのパワー・速度制限、ギア3：速度制限無し

6. **D** 現在の動作モード：ハンドル右側のN/Dボタンを押すことでDギアをセレクトできます。Dギアライトは点灯しているか消灯しているかのどちらかです。Dギアが点灯している時は発進出来ます。消えている時はギアがニュートラルに入っています。

7.  リサイクルマーク(モーターブレーキ)：

※モーターブレーキに電気回収機能はありません(回生ブレーキではありません)。モーターブレーキを強くすると抵抗をかけるために電気を消費します。

常時点灯：モーターブレーキが(弱)で有効な状態です。

ブレーキ信号が検出されると20ミリ秒(または10%の減速)後に起動します。

電源をオンにした際のデフォルトモード。

点滅：モーターブレーキが(強)で有効な状態です。

消灯：モーターブレーキがオフ状態です。

8. レディー (READY) ライト：このライトが常時点灯している時は運転出来ます。
このライトが消えている時は走行出来ません。

9.  バッテリー警告灯表示

オフ：十分なバッテリー残量

点灯：不十分なバッテリー残量

点滅：バッテリー残量小、早急な充電が必要

警告

電動バイクの電源を入れた後に、この警告灯  が点灯、もしくは点滅した場合は通常使用が出来ない可能性があります。もし電動バイクの運転中にこの警告灯  が点灯、もしくは点滅した場合は、ご使用をすぐに中止して下さい。この警告灯  の点灯、点滅は故障を意味します。計器に表示されているエラーコードをこのマニュアルで確認して、お近くのCAOFEN認定ディーラーへ早急にご相談下さい。

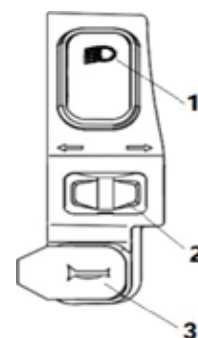
警告

スピードメーターに高圧洗浄機を使って直接水をかけないでください。スピードメーターをガソリンやアルコールで拭かないで下さい。パネルの割れや変色を引き起こします。

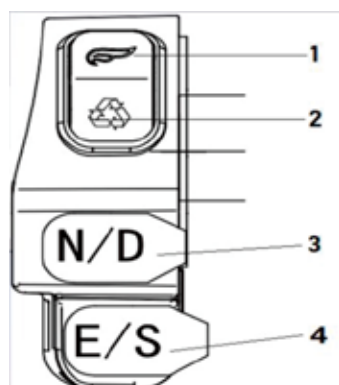
ハンドルスイッチ

ハンドルスイッチ(左)

1. ヘッドライトスイッチ
2. ターンシグナルスイッチ
3. ホーンスイッチ



1



ハンドルスイッチ(右)

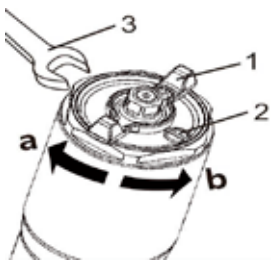
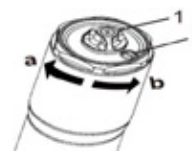
1. エンターテイメントモードスイッチ
2. リサイクルマークスイッチ
3. N(ニュートラル)/D(ドライブ)切り替えスイッチ
4. ギアスイッチ



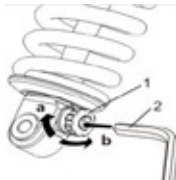
追加情報: エンターテイメントモードを有効にするにはボタンを3秒間押し続けて下さい。

フロントとリアのショック調整(ショック左右)

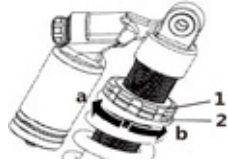
異なるライダーや荷重、ドライビングモード、そして路面状況に対応し、電動バイクの最適なドライビングパフォーマンスを得るため、フロントとリアのショックアブソーバーのプリロードを調整できます。これはまた、フロントフォーク、リアショック、そして車体をダメージから守るためにも有効です。

左フロントのショック(スプリングプリロード)： 1. スプリングプリロード調整ノブ 2. ベントネジ 3. 10mm レンチ / ソケット 	1. 調整ノブを a 方向に回すことによって、スプリングプリロードを強めることができます。 2. 調整ノブを b 方向に回すことによって、スプリングプリロードを弱めることができます。 3. スプリングプリロードの調整ノブは手で回すか10mmのレンチまたはソケット使用します。 4. 調整可能なスプリングプリロードの長さは12.5mmです。強弱共に、調整ノブを1回転させることで1.25mmの調整ができます。
右フロントのショック(伸び側減衰)： 1. 調整ノブ 2. ブリードネジ 	1. 調整ノブを a 方向に回すことによって、伸側減衰を強めることができます。 2. 調整ノブを b 方向に回すことによって、伸側減衰を弱めることができます。

フロントとリアのショック調整

1. 圧側(コンプレッション)調整ノブ 	1. 圧側調整ノブを a 方向に回すことによって、ダンパーの圧側を強めることができます。 2. 圧側調整ノブを b 方向に回すことによって、ダンパーの圧側を弱めることができます。
伸び側ダンパー調整 1. 伸び側調整ノブ 2. 六角レンチ(8mm) 	1. 伸び側調整ノブを a 方向に回すことによって、ダンパーの伸側を強めることができます。 2. 伸び側調整ノブを b 方向に回すことによって、ダンパーの伸側を弱めることができます。 3. 調整ノブを回す際は手で回すか、8mmの六角レンチを使用します。
リア圧側ダンパー調整 1. 圧側調整ノブ 	1. 圧側調整ノブを a 方向に回すことによって、ダンパーの圧側を強めることができます。 2. 圧側調整ノブを b 方向に回すことによって、ダンパーの圧側を弱めることができます。

フロントとリアのショック調整

スプリングプリロード 1. ロックナット 2. スプリングプリロード調整ナット		1. 調整ナットを a 方向に回すことによって、スプリングのプリロード値を強めることができます。 2. 調整ナットを b 方向に回すことによって、スプリングのプリロード値を弱めることができます。
スプリングプリロード 1. スペシャルレンチ		ロックナットのトルクは35Nmです。



警告

スプリングのプリロード、ダンパーの調整はライダーに合わせて適切に行なって下さい。やみくもな調整は乗り心地を悪化させ、バイクのコントロールが困難になります。



注意

スプリングプリロードには特殊工具が必要です。もし調整が必要な場合はお近くのCAOFEN認定ディーラーに整備を依頼して下さい。

車体識別

1. 車両プレート
2. 車体識別(VIN)ナンバー
3. モーターのモデル、工場ナンバー



ハンドル周り

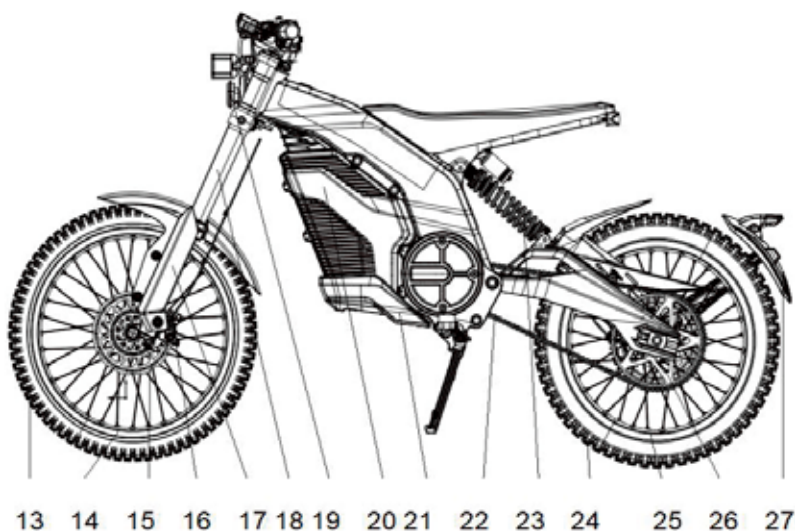
1. ヘッドライト
2. スピードメーター
3. 右ブレーキレバー
4. スロットル
5. 右ハンドルスイッチ
6. ハンドルバー
7. ステアリングダストカバー
8. スタートボタン
9. リアビューミラーベース
10. リアビューミラー
11. 左ハンドルスイッチ
12. 左ブレーキレバー



* 画像8. スタートボタンは製品モデルには含まれません。

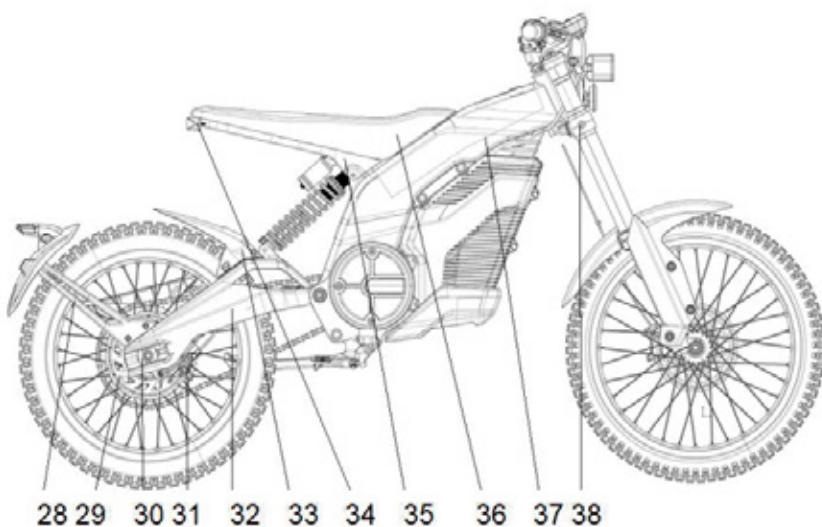
車体左側側面

13. フロントタイヤ
14. フロントリム
15. フロントブレーキディスク
16. フロントブレーキキャリパー
17. フロントフェンダー
18. フロントショック
19. ホーン
20. バッテリーパック
21. バッテリーガード
22. チェーン
23. リアダンパー
24. リアタイヤ
25. リアリム
26. リアスプロケット
27. リアフエンダー(リアセクション)



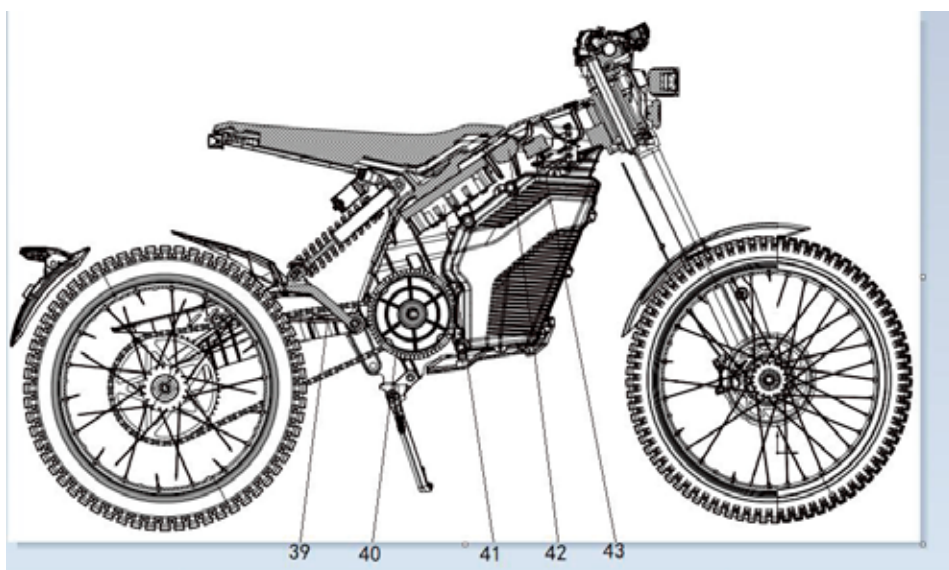
車体右側面

- 28. リアフェンダーブラケット
- 29. リアブレーキディスク
- 30. チェーンアジャスター
- 31. リアブレーキキャリパー
- 32. リアフォーク
- 33. リアフェンダー(フロントセクション)
- 34. テールライト
- 35. シートブラケット
- 36. シート
- 37. フレーム
- 38. ステアリング



フレーム内部

- 39. チェーンキャリパー
- 40. モーター
- 41. コントローラー
- 42. アラーム
- 43. DC-DCコンバータ



CAOFEN電動バイクの操作と運転方法

車両のスタート方法：

1. バッテリースイッチを押すと、スイッチ周りのライトが青く点灯し、オンとなります。
2. リモコンスイッチを押すとハンドルロックが解除され、スピードメーターのライトが点灯して車両は自己診断モードに入ります。
3. サイドスタンドを畳むとスピードメーターに[READY]ライトが点灯します。(オフロードモデルを除く)
4. ハンドル右側にあるN/Dボタンを押してDギアに入れると、スピードメーターのDライトが点灯します。
5. スロットルをひねると発進します。

警告

外気温が0℃を下回ると、バッテリーの低温保護機能が作動する場合があります。
使用する前に充電して下さい、車両が正常に動作しない場合があります。
スピードメーターに  エラーコードが表示された際は、そのエラーコードをこのマニュアルで確認して、お近くのCAOFEN認定ディーラーへ早急にご相談下さい。

危険

スピードメーターにDライトが表示されている時、スロットルをひねると車両は前進します。この際誤ってスロットルを大きくひねると車両が急発進し、人や物を巻き込んだ事故や、車両へのダメージに繋がる恐れがあります。初めて乗車する際は必ず、左右のブレーキレバーに人差し指と中指を掛けて、いつでもブレーキを掛けられるようにして、スロットルをひねる量＝スピードの調整を適切に行えるように十分気を付けて操作して下さい。

車両のパワーオフ方法

1. 車両停止後、ハンドル右側にあるN/Dボタンを押すと、スピードメーターのDライトが消えてニュートラルに入ります。
2. サイドスタンドを出すとパーキング状態になり、READYライトが消えます。
3. リモコンスイッチを押すと全ての電装品の電源が落ち、ハンドルロックがかかります。
4. 最後にバッテリースイッチをオフにします。

サイドスタンド

1. チェーンテンショナー
2. スタンバイスイッチ
3. サイドスタンド



この電動バイクはサイドスタンドを使用して駐車します。サイドスタンドについているスイッチはセーフティーの為にあり、スタート機構に連動しています。サイドスタンドを出している状態ではREADYライトは点灯しません。サイドスタンドを畳んだ時にのみ、READYライトが点灯します。

※F80オフロードモデルにはサイドスタンドスイッチは搭載されていません

警告

スピードメーターに  が点灯した場合、リモコンスイッチではパワーオフできないかもしれません。その際はバッテリースイッチで電源をオフにしてください。このような場合、スピードメーターに表示されるエラーコードをこのマニュアルで確認して、お近くのCAOFEN認定ディーラーへ早急にご相談下さい。

危険

スロットル操作を誤ると非常に危険です。加減速がスロットルで調整できない場合、重症または死に至る事故の原因となります。スロットルがスムーズに動くか、途中で引っ掛からないか必ず確認してから、乗車して下さい。もし問題を発見し、解決できない場合はお近くのCAOFEN認定ディーラーへご相談下さい。

危険

高速走行時に減速する際、フロントブレーキのみ、あるいはリアブレーキのみを使用すると車両がスリップしたり、バランスを崩してしまう恐れがあります。前後のブレーキは均等に使用して下さい。

注意事項

1. 二人乗りはしないで下さい。家畜やペットなどの動物は、この電動バイクで運ぶことは出来ません。
2. 車両の重心に影響を与えないよう、車両に搭載する荷物は可能な限り低くして、左右のバランスが均等になるようにして下さい。また、荷物が車両後方に突き出ないようにして下さい。
3. 荷物は車両にしっかりと固定して下さい。運転する前に、荷物が動かないか確認して下さい。運転中に車両が安定しないと感じたら、車両の固定を確認し、必要であれば再度固定して下さい。
4. 大きい荷物や重い荷物は運ばないで下さい。過積載は車両のハンドリングや性能に悪影響が出ます。
5. 電動バイクの性能を低下させるようなアクセサリーの取り付けや、荷物を載せないで下さい。車両に何かをする場合、必ず灯火類、最低地上高、ブレーキ性能、ロールアングル、ハンドリング性能、タイヤ、サスペンション、その他車両性能に関わる部分へ影響が出ないことを確認して下さい。
6. ハンドルバーやフロントフォークへ重量を追加することは、ステアリング性能へ影響を及ぼし、安全な運転を妨げる原因となります。
7. この電動バイクは3輪には変更できません、またトレーラーや他のものを牽引することは出来ません。使用者自身による修理や改造によって起こった、いかなる事故や怪我も製造者、販売者は責任を負いません。
8. 飲酒後、薬を服用後の運転は法律で禁止されています。運転をする際は、ヘルメット、目を保護するアイプロテクション、フェイスシールド、グローブ、ブーツ、長袖のシャツまたはジャケット、長ズボンを着用して下さい。

最大積載量：100kg（ドライバー、荷物、アクセサリーを含む）

注釈

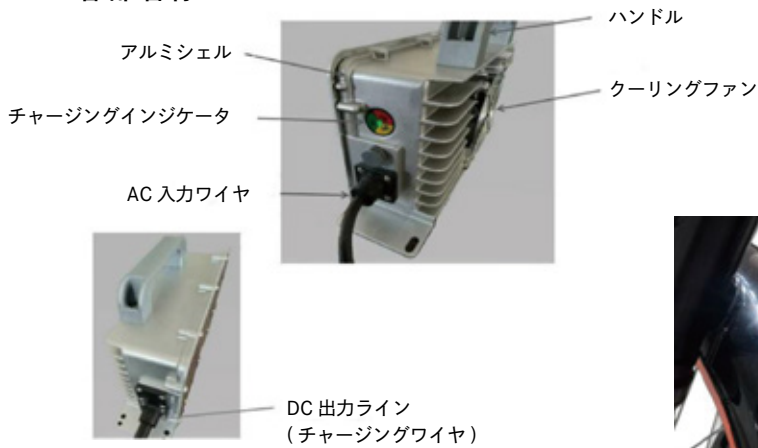
- スピードメーターに表示されるギア1が発進時に一番安定し、ギア2、ギア3と段々とパワーが上がります。
- チャージングライトが点滅し、パワーインジケーターが20%以下の場合はバッテリーの保護機能が働き、出力を15%に制限します。チャージングライトが点滅した際は、バッテリーを再充電して下さい。

充電方法

1. 概要

このスマートチャージャーはCAOFEN車両のバッテリーを充電するために作られています。スマートチャージャーは一般的な10Aもしくは16Aの電源を使用します。充電過程は充電器本体によるプログラムで制御されており充電が完了すると自動的に止まります。

2. 各部名称



3. 商品特徴

◆ 小型でハイパワー	充電速度が早く、80%まで2時間で充電できます(20℃の環境にて)
◆ 6つの保護機能	専用保護機能、高温保護機能、出力ショート保護機能、出力逆接続保護機能、出力過電圧保護機能、出力過電流保護機能
◆ 自動車産業レベルの耐衝撃性能	頑丈
◆ IP66レベルの保護機能	高水準の保護機能、セキュリティ、信頼性
◆ CAN(Controller Area Network)による通信プロトコル	リアルタイム通信により制御されたバッテリー充電
◆ 幅広い作動温度領域	-40℃～60℃で使用可能
◆ 軽量で持ち運び可能	軽量で熱伝導に優れたアルミダイキャスト製のシェル

4. 使用環境と所要電力

NO.	アイテム	技術指標	備考
1	動作温度	-40℃ ～ +60℃	
2	保管温度	-40℃ ～ +90℃	
3	相対湿度	-5% ～ 95% 強まで対応	
4	保護クラス	IP66	
5	冷却方法	強制エアークーリング	
6	入力ボルト数	AC220V+15%	AC電源の整合に注意して下さい
7	入力周波数	AC90-140V	AC220Vは使用厳禁
		50Hz±2%	

充電器の底にあるラベルに記載されたAC電源(AC)ボルト数に従って、AC220Vまたは110VのAC電源を選びます。そして対応する充電時に使用するコンセントの定格電流は、少なくとも10A(AC)を満たす必要があります。

AC220Vの電源をAC110V(100V)の充電器に使用しないで下さい!使用した場合、安全上の重大なリスクが伴います。

5. 充電方法

5.1 充電は涼しく、乾燥し、換気された空間で行って下さい

5.2 充電中は燃えやすいものから遠ざけ、充電器周辺の風通しが良く、放熱が出来るようにして下さい。充電器に何も被せないで下さい。

5.3 バッテリースイッチをオンにして下さい。(スイッチ周りのライトが点灯します)

5.4 DC出力プラグをバッテリーの充電ポートにロックを押しながら差し込み、しっかりと奥まで刺さっているか確認します。

5.5 充電器のAC入力プラグをコンセントに挿し込みます。(プラグがコンセントに確実に刺さっていることを確認して下さい)充電器のチャージングインジケータが約3秒間、緑色に点灯してその後、赤く点滅します。充電器のファンが自動的に回転を始めて、充電中となります。

5.6 バッテリーが満充電になると、充電器は自動で充電を止めます。この時、インジケータは緑色に点灯し、クーリングファンも止まります。車両の電源を入れるとスピードメーターには、バッテリーレベルが100%と表示され、点滅していたバッテリーチャージングマークは消えています。

5.7 充電が完了した後、バッテリーから出力プラグを外し、防塵のプラスチックカバーを付けます。その後、充電器の入力プラグをコンセントから外します。

バッテリー残量により異なりますが、ほぼ 0%からの充電の場合でもほぼ3時間以内で満充電となります。満充電後はオートストップとなりますが、充電器はお早めに本体から外してください。

6. チャージングインジケータ説明

1	充電中	1秒毎に赤点滅	充電中
2		緑点灯	充電完了
3	問題発生時	3秒毎に赤点滅	バッテリーに異常
4		3秒毎に緑点滅	充電器に異常
5		赤と緑が交互に点滅	入力電源に異常

7-1. よくある質問

No.	症状	問題	解決方法
1	充電器のランプが緑だが充電されていない	AC電源のボルト数が、充電器底のラベルに記載されているものと合っていない	AC電源のボルト数が適合するものに変更する
2		充電器の出力プラグがバッテリーに差し込まれていない、最後までしっかりと差し込まれていない	充電器の出力プラグ(DC)をバッテリーの充電ポートにしっかりと差し込んで下さい
3		バッテリーのスイッチが入っていない	バッテリーのスイッチを押してください スイッチのライトが点きます
4		充電器がバッテリーに適合していない	ディーラーに交換を依頼して下さい
5		充電器、またはバッテリーが高温になっている	45℃以下になると自然に放熱されます
6	充電に時間がかかる	気温が5℃以下	充電場所を気温15℃以上の所に変えるか、バッテリーの温度が上がるのを待つと充電器は充電速度を早めます
7		バッテリーの温度が45℃以上	バッテリーの温度が下がると充電器は自動的に充電速度を早めます
8	充電器のランプがつかない (反応していない)	充電器に電気がきていない	AC電源を確認して下さい
9		充電器が故障している	販売者、製造元に連絡して下さい
10		バッテリースイッチがオフになっている	下記回答↓

充電はバッテリーのスイッチをオンにしてから充電器を繋ぐ必要があります。充電器を接続する前にバッテリースイッチをご確認ください。充電器を接続する前にバッテリースイッチをご確認ください。充電途中でパーセントが動かなくなった場合は充電エラーの可能性あります。いったん充電器を外し、バッテリースイッチをオフにして10分程度待ってから、再度、バッテリーのスイッチをオンにして充電を開始してください。

7-2. その他の質問

急にパワーが落ちた

> バッテリー残量の低下(15%以下)モーター出力が制限され最高速度が45km/hまでとなります。
充電してください。

左にハンドルが切れない

> ハンドルロックが掛かっている。電源をオンにして下さい。電源オフ時はハンドルがセンターでロックがかかっていなくてもハンドルロックのピンが飛び出し左へハンドル切れ角が制限されます。

バッテリースイッチを押してもオンにならない

> バッテリーが保護モードになっている。バッテリースイッチを数秒の間隔をあけて数回オンオフしてみてください。
数回、オンオフしても変わらない場合は、10分ほど充電してみてください。

リモコンを押してもオンにならない・すぐメーターが消える

> ハンドルロックが掛かっている。ハンドルを右に切ってからリモコンスイッチを押してください。
※ハンドルを左に切っていると電磁ハンドルロックのセーフティでメーターオンになりません。

走行距離について

> CAOFENの最大走行距離は150km/hです。※メーカー計測データ(舗装路 30km/h 定速走行時)

CAOFENはすべてのモデルでバッテリー残量が15%を切るとパワーがダウンする【バッテリーセーブモード】になります。

OFF-ROADのコース走行可能時間はライダーのスキル、コース、コンディション等でバッテリーの減り方は異なりますが、セーブモードまでおよそ50～70分が目安。そして残り15%で10～15分は走れると予想されるので、合計走行時間は60～90分と考えて下さい。

※走行距離は走り方・ライダーの体重・道路状況などによって大きく変わりますので上記は参考数値です。

スペアバッテリーについて

CAOFENのバッテリーは固定式で通常脱着は出来ませんので、スペアバッテリーは販売しておりません。

※バッテリー損傷時のリペアとしてのバッテリーは手配させていただきます(状況により手配に時間がかかる場合があります)。

チェーンの張り具合について

> チェーンの遊び推奨値はチェーンセンターでチェーンを上を持ち上げて10～20mmです(サイドスタンドを出してマシンを置いた状態で計測)。CAOFENはチェーンテンショナーがあるため、通常のオフロードバイク等よりチェーンの遊びは少なくしてください。チェーンの張りが緩いとフルボトム時などにチェーンが外れる可能性があります。

8. 安全上の注意事項

- > 充電器がオーバーヒートしないよう、設置する場所周辺には空きスペースを確保し通気を良くして充電をして下さい。
- > 充電する際は、熱を発するもの、燃えやすいものから遠ざけ、涼しく乾燥した風通しの良い場所で行って下さい。
- > AC電源のボルト数と電流が充電器に対応しているか確認して下さい。
- > 安全のため、充電器の電源プラグにあるアース線を使用して下さい。
- > 効率の良い放熱を実現するため、充電器は平らな場所に置いて、放熱部分が垂直になるようにして下さい。
- > 高出力充電器のため、必ずコンセントに直接差し込んで下さい。タコ足配線や延長コードは禁止です（ブレーカーが落ちたり、発熱・炎上の危険性があります）。充電器の入力は最大9Aでドライヤーと同程度の負荷がかかると考えてください。
- > CAOFEN充電器は防水ではなく水濡れ厳禁です。充電は水気のない屋内で行ってください。
- > 充電中、充電器に異常が発生した場合は、すぐに電源とバッテリーから外し、お近くのCAOFEN認定ディーラーへご相談下さい。
- > 感電の恐れがありますので、絶対に充電器を分解しないで下さい。
- > 充電器のコードは破損させないように、丁寧に扱って下さい。コードの摩耗や破損を見つけた際はすぐに新しいものと交換して下さい。
- > 半年に一度、充電器のアルミシールドに付いたホコリを取り除くことをお勧めします。
- > 充電器につなげる電源は、過電流が流れた際の保護装置（ヒューズ、ブレーカー）が付いているものを使用して下さい。

CAOFEN F80 Fault Code List	
エラーコード	エラー内容
ER04	バッテリー過充電（軽度）
ER05	バッテリー過充電（中度）
ER11	充電電圧保護
ER14	放電電圧保護
ER17	充電時高温保護
ER22	放電時高温保護
ER25	放電時低温保護
ER28	温度差保護
ER29	充電過電流保護
ER32	放電過電流保護 レベル 3
ER33	予備充電不良保護
ER35	充電不良保護（ショートサーキット又はオープンサーキット）
ER36	温度センサー不良
ER37	電圧検出不良
ER38	MOS不良
ER39	AFE検知不良
ER100	コントローラ内MOSショート
ER101	ハードウェア過電流不良
ER105	コントローラ内インバータ故障
ER106	三相電流の電位差異常
ER107	電流検出異常
ER108	データセルフテスト異常
ER110	右スロットルグリップ異常
ER111	ソフトウェア低電圧障害
ER112	ソフトウェア過電流障害
ER113	一般的な低電圧異常
ER114	重大な低電圧障害
ER115	一般的な過電圧障害
ER116	重大な過電圧障害
ER118	コントローラの過負荷障害
ER121	過速度障害
ER122	ワイヤーハーネス タイムアウト障害
ER123	IGBT の一般的な過熱障害
ER124	IGBT の重大な過熱障害
ER129	モーターの一般的な過熱障害
ER130	重大なモーター過熱障害
ER131	右スロットルグリップ信号異常
ER145	IGBT温度センサー異常
ER146	モーター温度センサー異常

※ER113対処法：充電後、再起動してください

エラーコードが表示された際は、お近くのCAOFEN認定ディーラーへ早急にご相談下さい。